



國貞画圖

仙果鈔録

八犬傳大之陣

廿四編下

弁題曲及圖

廿四編上

10
3414
48

10
3414
47





八天傳太之助

丹四編上

13
3414
47

3414
47

雪梅

茅潭

大之及帝

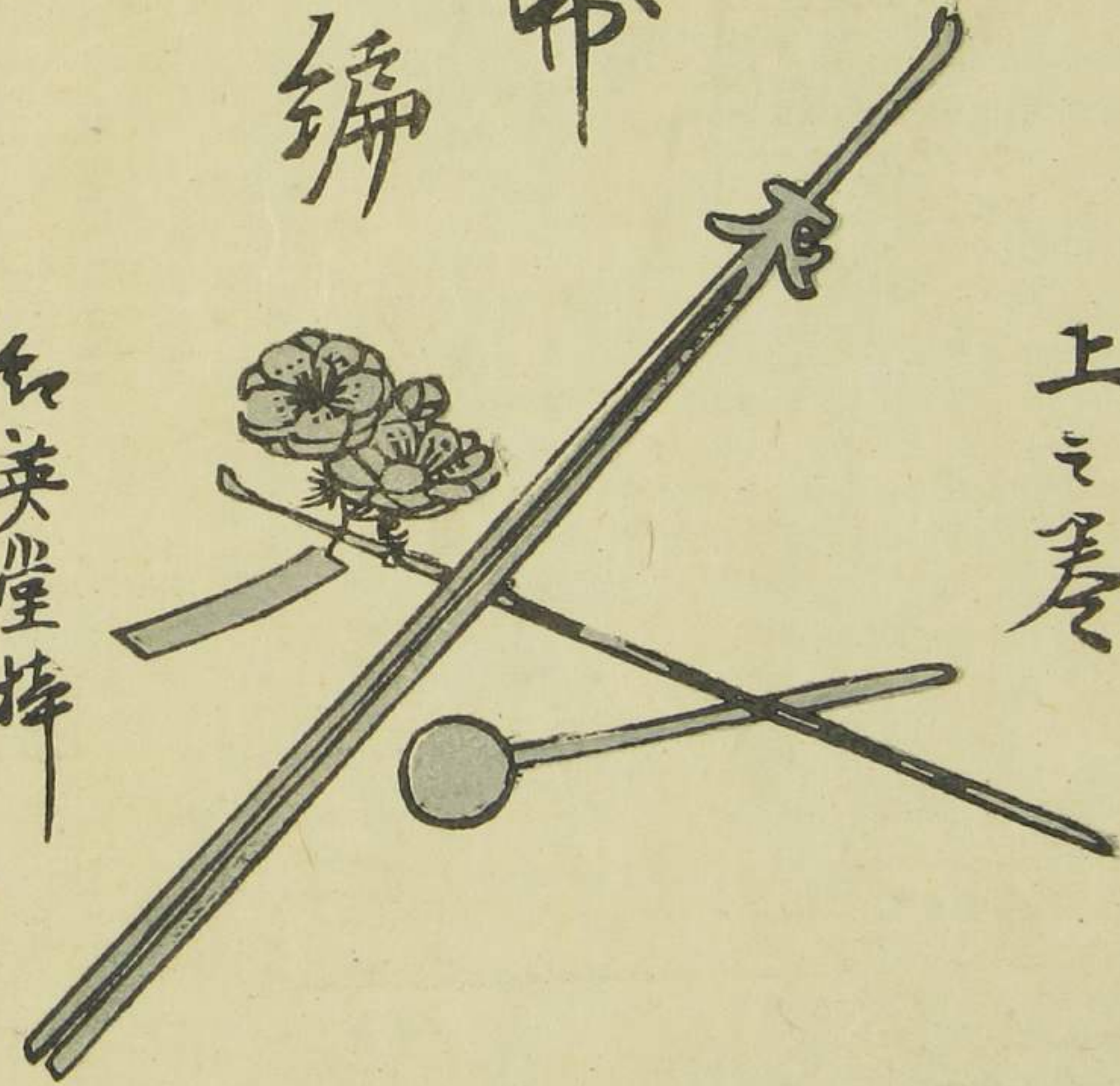
廿四編

仙果祇

國貞五

上之卷

如英堂梓



大正

一

一

一



六ノ書下式廿四



犬山道節
女弟濱路
幽魂



由女團丸

同名の縁小靠て陰鬼
陽人小憑生前の情願を
謝ふその話ハ第廿五編の
末小あり
大須賀篠見成孝
里見義業息女
濱路姫

狗廿四編附言又して同線言の事と鈔録物程張合の事著作者有るは
 其三人々張合て書のも豊けた御代の餘澤具繪草紙繁昌の事なるは
 思ふ心肝小徹と辱し扱も世更の曠けは原傳と音ぬ童釋達の鈔録と作との
 差別もたると此約も仙果の作りと万思錯の實の無実の濡衣と濡手で
 粟の濡衣と口を濡す助と其辱と又抑戲作者も文人の端材先輩の編述と
 拔書とて作名記すの餘り小拙し此學者の真似りて耻て止まると今も猶見せらる
 朋友もほきと作の事と古書も折々讀すれは學者の真似りて出来若戲
 作者の事と學者の事と庚申山の山猫とあると一旦人間小交り愚人小尊敬せらるるも
 遂に八尾を出し身とも戯し物笑の種あると唯猫の猫の境界を樂しと牡丹小眠り
 蝶小戯と戲作者の戲作者の本意と失念と綴聊化とも晒の手拭小厚顔皮成
 裏夏も夜並小汗絞の浴衣と猫踊他の丹誠の膏とあるも番敷書て問屋の催
 促請ぬやふと出情のせむやとこのふい

癸丑正月

笠亭仙果





この人かどうを
あつちのちを
をまかせ
かまひん
ういもの
いんせつ
けんハク
くらんを
白井
十さん
これの

あつち
ういもの
けんハク
くらん
白井
十さん

十人

あつち
ういもの
けんハク
くらん
白井
十さん
これの



この人かどうを
あつちのちを
をまかせ
かまひん
ういもの
いんせつ
けんハク
くらんを
白井
十さん
これの

あつち
ういもの
けんハク
くらん
白井
十さん

十人

あつち
ういもの
けんハク
くらん
白井
十さん
これの

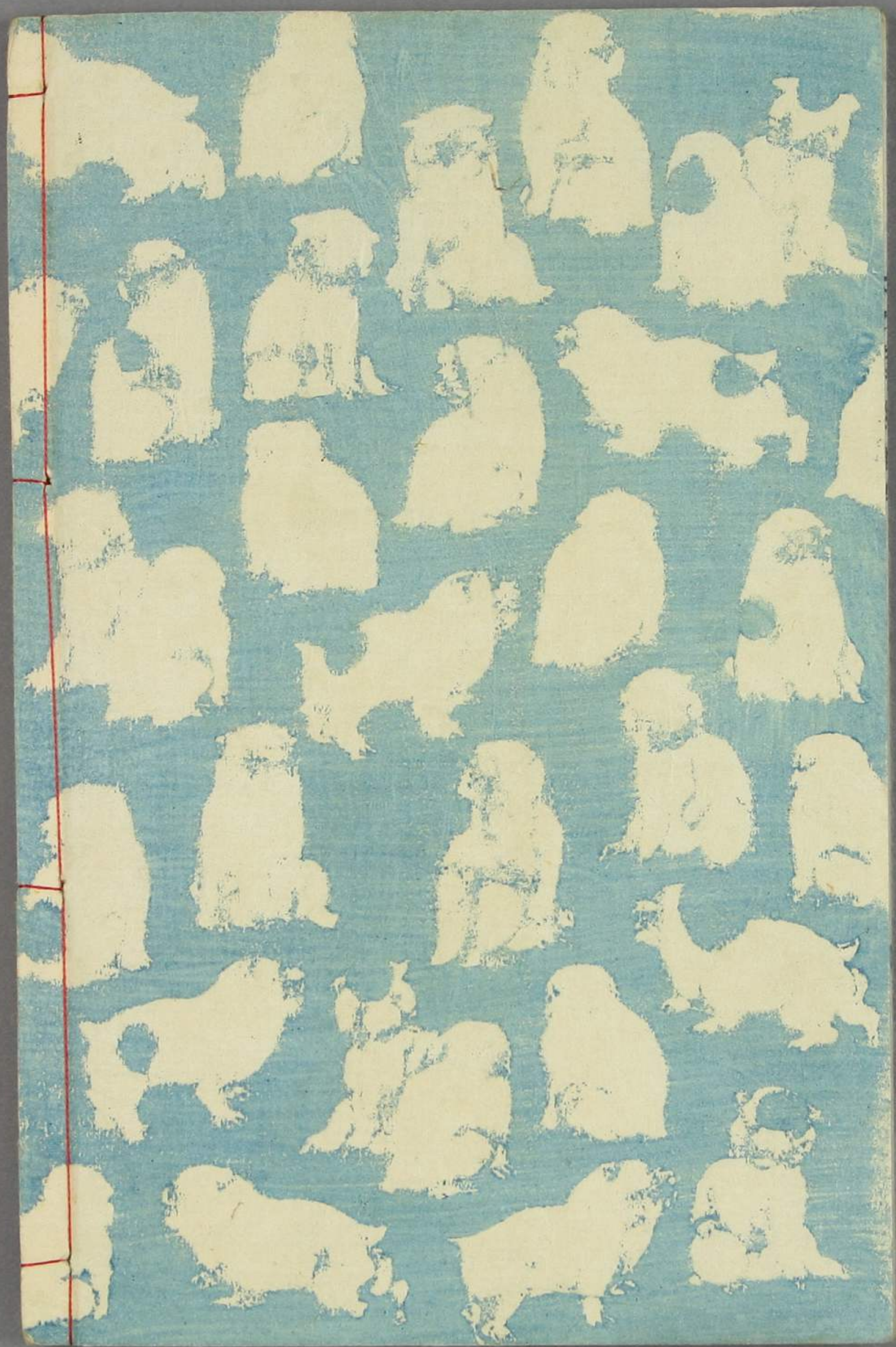


Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a list of names, located to the left of the warrior illustration.



Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a list of names, located to the left of the woman illustration.

Additional handwritten text in a cursive style, located below the woman illustration.





國貞画圖

仙果鈔録

九四編下

弁題曲及圖

10
3414
48

此の物語は、昔の物語に
 似て、今も昔も、人の心
 を動かすものがある。その
 一つは、愛と恨の情である。
 愛は人を救ふ、恨は人を
 滅ぼす。この世は、愛と
 恨の情で成り立っている。
 人は、愛を以て生かされ、
 恨を以て滅ぼされる。この
 世の理、人はよく知るべき
 である。

此の物語は、昔の物語に
 似て、今も昔も、人の心
 を動かすものがある。その
 一つは、愛と恨の情である。
 愛は人を救ふ、恨は人を
 滅ぼす。この世は、愛と
 恨の情で成り立っている。
 人は、愛を以て生かされ、
 恨を以て滅ぼされる。この
 世の理、人はよく知るべき
 である。

此の物語は、昔の物語に
 似て、今も昔も、人の心
 を動かすものがある。その
 一つは、愛と恨の情である。
 愛は人を救ふ、恨は人を
 滅ぼす。この世は、愛と
 恨の情で成り立っている。
 人は、愛を以て生かされ、
 恨を以て滅ぼされる。この
 世の理、人はよく知るべき
 である。

此の物語は、昔の物語に
 似て、今も昔も、人の心
 を動かすものがある。その
 一つは、愛と恨の情である。
 愛は人を救ふ、恨は人を
 滅ぼす。この世は、愛と
 恨の情で成り立っている。
 人は、愛を以て生かされ、
 恨を以て滅ぼされる。この
 世の理、人はよく知るべき
 である。







あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま

あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま



あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま
あつちのうらやまのうらやま

此の事は... 大の事紀七四... 此の事は... 大の事紀七四...



此の事... 大の事紀七四... 此の事... 大の事紀七四...



此の事... 大の事紀七四... 此の事... 大の事紀七四...



Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the right margin of the right page.

嘉永六癸丑新春新鐫目錄

大晦日曙草紙 十九編 京山作 芳綱画	犬傳大品紙 三編 仙果録 豊国画 國貞画	御贄美少年始 八編 一九録 國綱画	俠客傳仙摸略説 九編 西馬譯 國綱画	嶋巡浪間朝奈 五編 種員譯 六編 國輝画	鹽屋古今草紙合 九編 仙果作 十編 國輝画
連理翅山雞奇縁 三編 西馬補 四編 芳綱画	松浦船水棹婦言 初 仙果録 二 國芳画	八重撫子裏物語 初 仙果録 二 國貞画	花叢喜梅雅物語 初 西馬譯 二 國輝画	春柳錦花四 五編 一九録 六尾 芳綱画	地本問屋葛屋吉藏板 東都南傳馬町二丁目

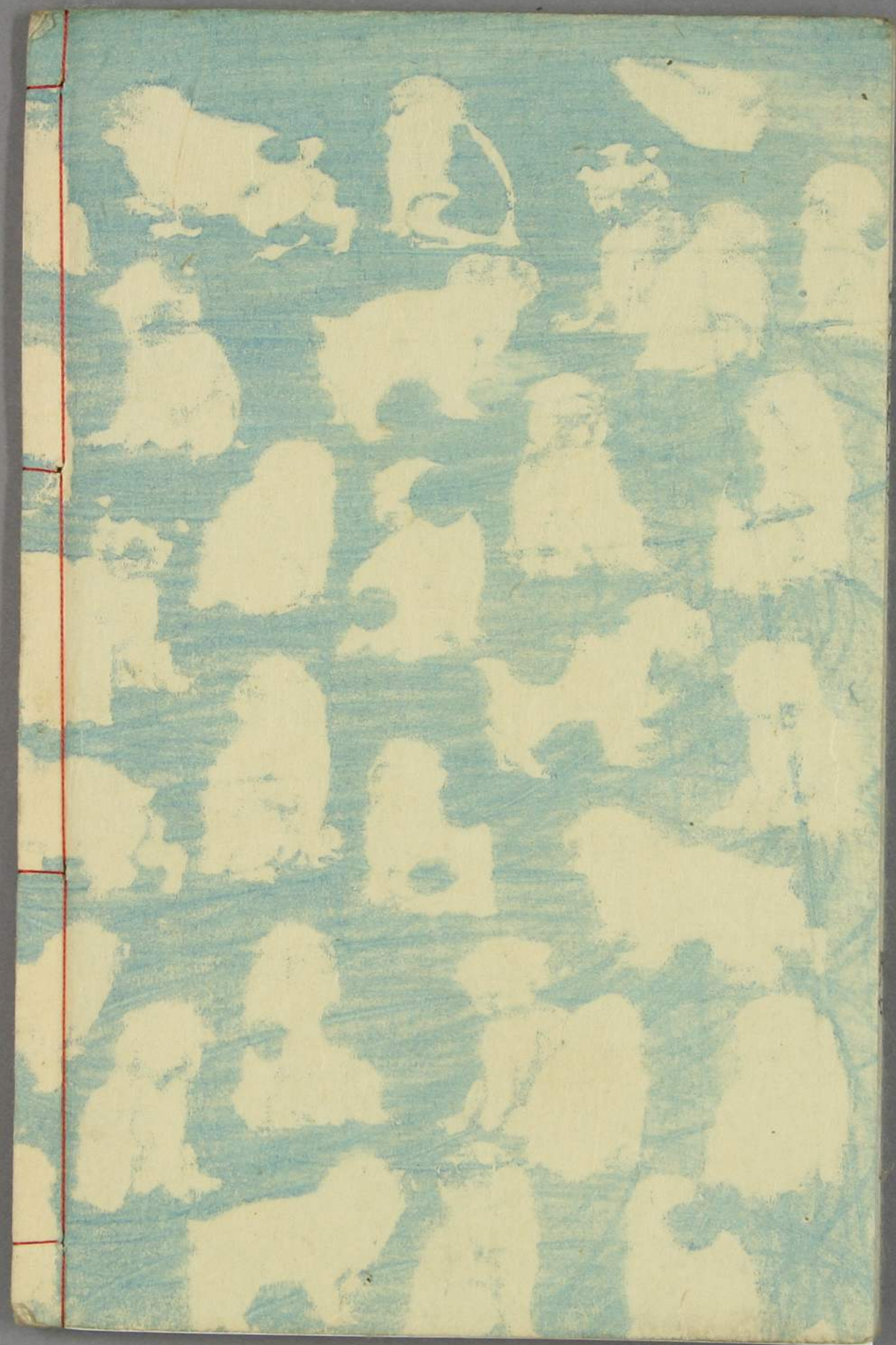


仙果録
國貞画

海善
草鳥

大晦日曙草紙

七





友之雙紙

二十四編

仙果譯國貞畫

紅英堂梓

五

13
3414
47-48

